

実り豊かな生活文化都市

中央市

 議会だより

2008年3月1日発行

第8号

発行 山梨県中央市議会

発行人 議会議長 河西俊彦

編集 議会広報編集委員会



心にひびけ!

甲斐与一太鼓ジュニア部の演奏(成人式)

3月定例会代表質問は日曜日開催

(詳細は3ページ)

■ 12月定例会で決まったこと	2～3
■ 市長の行政報告	4
■ 一般質問に12議員	5～10
■ 委員会レポート	11
■ 市民の談話室・編集後記	12

条例

平成十九年中央市議会第四回定例会は、十二月十一日～二十日までの一〇日間の日程で開催されました。

平成十九年度一般会計補正予算をはじめ、条例改正三件、補正予算八件、規約改正一件、請願四件、規約改正を除いて常任委員会に付託され審議しました。規約改正は初日に可決され、その他の議案は最終日に原案のとおり可決しました。

請願は、二件を採択し、二件は総務教育常任委員会において、継続審査としました。最終日には、意見書が二件提出され可決しました。

また、一般質問には、二人の議員が登壇し、市政の諸問題について質問しました。

職員給与条例の改正

人事院、山梨県人事委員会の給与勧告に照らし、給料月額、勤勉手当、扶養手当等の改正を行うもの。

・給料月額 若年層に限定して引き上げ（中高年層は据え置き）

・勤勉手当 一・四五月分から一・五月分へ引き上げ

・扶養手当 配偶者以外の扶養親族月額六、〇〇〇円から六、五〇〇円へ引き上げ

特別会計条例の改正

平成二十年度から後期高齢者医療制度が開始されるための特別会計を設置するもの。

国民健康保険税条例の改正

地方税法の一部改正に伴い、保険税の徴収方法・普通徴収の納期の改正を行うもの。

・徴収方法 「普通徴収のみ」から「特別徴収と

普通徴収の併用」

・普通徴収の納期 「毎月一回」から「七月～二月までの毎月」

補正予算

一般会計補正予算

（第4号）

補正額 六、五八〇万一千円

予算総額は一二億八、五九一万六千円とする。

国庫負担金、県補助金、前年度繰越金を財源として、給与改正に伴う人件費、各特別会計への繰出金、児童手当支給事業、保育所措置事業等に充てる内容。

補正額 五、九三万五、〇〇〇円

国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

補正額

五、九三万五、〇〇〇円

予算総額は二億六、四四六万三千円とする。

老人保健特別会計補正予算（第3号）

補正額

四〇二万七千円
予算総額は一九億五、

三一八万四千円とする。

簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

補正額 一四二万円

予算総額は一億八、二七九万九千円とする。

下水道事業特別会計補正予算（第3号）

補正額 一、三一〇万円

予算総額は一九億一、五八一万円とする。

田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 五、四六万五千円

予算総額は七、二五八万八千円とする。

土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）

補正額 四、五〇〇万円

予算総額は一〇億五、一三九万四千円とする。

上水道事業会計補正予算（第2号）

（収益的支出）
補正額 二五〇万円

規約改正

予算総額は四億九三五万八千円とする。

甲府地区広域行政事務組合規約の変更について
合併前の双葉町の視聴

覚ライブラリー事業を甲府地区広域行政事務組合において、共同処理を行うための改正。

議会の動き

11月

12月

2日 都市計画審議会
3日 稲穂まつり
文化祭

4日 三郡衛生組合議会
5日 議会運営委員会
会派代表者会議

6日 議会運営委員会
会派代表者会議

6日 中巨摩広域議連
11日 第4回定例会開会

7日 議会広報編集委員会
9日 田富北小公開授業

12日 一般質問
13日 一般質問

11日 防災訓練
12日 地域密着型サービス運営委員会

14日 総務教育常任委員会
17日 産業土木常任委員会
18日 厚生常任委員会

14日 国保運営委員会
厚生常任委員会福祉施設等現地視察
スーパージョウ安全祈願祭

20日 第4回定例会閉会
25日 東八広域議会
26日 中巨摩広域議会
27日 甲府広域議会

15日 総合計画審議会
青少年育成推進大会
行政改革推進委員会
山梨県後期高齢者医療広域連合議会
中央市文化講演会
三郡衛生組合議連
開発審査会

4日 新年役職員互礼会
6日 消防団出初式
13日 成人式
28日 議会運営委員会
会派代表者会議
議会広報編集委員会

平成20年1月

12月定例会で 決まったこと

請願2件を採択

2件は継続審査

(採択2件)

身体障害者に対する駐車禁止除外指定の対象範囲の基準を従前の対象者を排除しないようとする意見書の提出を求める請願

提出者

・山梨県身体障害者連合
福祉会長 浅野伸二
・中央市障害者福祉会長
馬場正江

紹介議員 設楽愛子議員

(要旨) 身体障害者に対する駐車禁止除外指定の対象範囲の基準を従前の対象者を排除しないようとする意見書の提出を求める。

教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書

提出者

・中央市PTA連絡協議
会長 功刀 裕章
・中央市公立小中学校長
会会長 望月 孝之

とともに、国による教育予算の拡充と教職員定数の改善が図られるよう、意見書の提出を求める。

・中央市公立小中学校教
頭会会長 中込 清
・中央市教職員会事務局
長 鷹野 浩文

紹介議員 山本国臣議員
(要旨) 義務教育費国
庫負担制度が堅持される

(継続審査2件)

中央市「郷育の日」 制定のための請願

提出者

・甲府青年会議所理事長
塩澤 清司
・直前理事長
松村 秀彦

・理事 河西 通友

紹介議員 石原芳次議員
福田清美議員

名執義高議員

(要旨) 地域の独自性をもった教育環境都市へ向け、第一歩としての「郷育の日」の制定を求める。

総務教育常任委員会
継続審査と決定。

「公契約法」の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する請願書

提出者

・山梨県建設組合連合会
会長 池川 春男

紹介議員 関 敦隆議員

(要旨) 公共事業において、建設労働者の適正な賃金が確保されるよう「公契約法」の制定を進めること、「公共事業の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の付帯決議の実効性ある施策の早期実現を図るよう意見書の提出を求める。
総務教育常任委員会
継続審査と決定。

3月議会の予定

3月16日(日曜日)に休日議会(代表質問)を開会

3月議会から新しい試みとして、3月、9月議会に休日議会を開会します。

代表質問を3月16日(日曜日)午前10時から行います。また、3月4日(火)の本会議前(午前10時から20分間)には、清水章子先生による朗読会を行います。ぜひ傍聴においでください。

3月 4日(火)	本会議(開会)
6日(木)・7日(金)	総務教育常任委員会
10日(月)・12日(水)	厚生常任委員会
13日(木)・14日(金)	産業土木常任委員会
16日(日)	代表質問
17日(月)・18日(火)	一般質問
19日(水)	本会議(閉会)

なお、3月議会では諸行事の都合で日曜日ですが、9月議会には、土曜日、日曜日の2日間の開会を予定しています。

意見書

駐車規制及び駐車許可制度の運用に関わる警察庁通達の見直しを求める意見書
(要旨) 請願と同趣旨
教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上に関する意見書
(要旨) 請願と同趣旨

スーパー街区出店 6月にオープン

12月定例会

田中市長の行政報告

1 山梨県地震防災訓練

十一月十一日に、東海地震を震源とする地震発生を想定し、住民の防災意識の高揚を目的に、各自治会、消防団、県警、自衛隊等、多くの防災関係機関が参加し、実践的な訓練が行われました。

2 医大南部スーパー街区進捗状況

ロック開発株式会社の建築確認申請に対し、確認済書が交付され、十一月十四日にロックシティー山梨中央ショッピングセンターの起工式が行われました。二十年六月のオープンを目指し、医大南部土地区画整理事業の

3 カインズ訴訟の状況

早期完成に努めます。
十一月二十九日付けで「仮処分申立事件」は、申し立てを却下するとの決定が甲府地方裁判所であり、本決定取り消しが有効であることが認められました。

4 第一次中央市長期総合計画策定

中央市の将来像や目指すべき方向性と、具体的に取り組むべき施策について、内容の検討を精力的に行っており、三月定例会市議会での承認に向け、努力しています。

5 中央市集中改革プランの策定

行政改革推進委員会に諮問し、四回の委員会を開催し、十一月三十日に答申をいただきました。集中改革プランの内容につきましては、ホームページで公表しています。これまで以上に行政改革を推進し「簡素で効率的な市役所の実現」を目指します。

6 中央市税等第二次滞納整理強化月間

十九年度から収納課を設置し、税負担の公平性の確保や、滞納額の縮減、一般財源の確保を図ってきました。十二月は第二次滞納整理月間として、

7 医療制度改革への対応

収能率向上、滞納者の意識改革を図っていきます。
二十年四月から七五歳以上の高齢者を対象に、後期高齢者医療制度がスタートします。万全な準備体制の構築と、制度を理解いただくための啓蒙普及・広報活動に努めます。

8 福祉保健教育拠点施設整備事業

まちづくり事業の都市再生整備計画に位置づけ、三力年継続事業として実施。福祉保健教育拠点施設整備事業は、着工以来順調に工事が進捗し、五月連休明けに一般開放の

9 中山間地域総合整備事業

予定です。
三珠、豊富地区の広域連携型事業として、農業生産基盤と農村生活環境基盤を総合的に整備し、都市住民の憩いと安らぎの場として、自然活用を目的に事業が進められています。事業年度が一年延長され、二十一年度までとなりました。

12月
定例会

一般質問

12議員が登壇

十二月定例会では十二人の議員が一般質問に立ち、二三項目にわたって市の方針をただしました。この記事は質問・答弁を要約したものです。

Q 総合評価方式による入札制度を



関 敦隆 議員

関係員 昨今、手抜き工事の発覚により、公共工事における入札制度の見直しが行われた。そのひとつが、価格だけで判断せず、技術力や実績、手持ち工事の有無、地域へ

の貢献度、本店・営業所の有無等を勘案する総合評価方式の導入だ。

市町村においては、技術系職員の不足などの理由で、公共工事発注の体制が十分に整備されていないのが現状だ。本市でも一般競争入札を導入するには、一定の期間と準備

が必要だと考える。また、落札価格だけで業者を決定することにも疑問を感じる。価格だけでなく仕事の中身を評価できるように技術系職員の育成と透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施行の確保、不正行為の排除の徹底など、基本原則に基づいて判断する、総合評価方式の導入が先であると考えるが、市長の所見を伺う。

A 導入に向け検討する

市長 近年、公共工事が減少する中で価格競争が激化し、著しい低価格の落札が急増している。このため、技術力の低い建設業者の施工による、品質低下が懸念されている。発注者が建設業者の技術能力を適切に審査し、価格と品質で総合的に優れた調達を実現することが必要だ。

この基本理念を具体化したものが、十七年四月

に施行された、公共工事の品質確保の促進に関する法律で位置付けられた総合評価方式だ。

今年度、国は一億円以下の工事は、総合評価方式で実施する方針を打ち出した。山梨県においてもこの方式を大幅に増やし、一般競争入札の三割程度の実施を予定している。

市町村においては、甲斐市、市川三郷町が、総合評価方式を導入した特別簡易型指名競争入札を試行する。本市も、県および導入自治体に指導を

いただき、試行に向け準備を進めている。

公共工事発注のための体制が十分に整備されていない現状も踏まえ、同種類の工事の施工実績等、適切な評価を経て定量化された評価項目を可能な限り設定し、入札参加者の施工能力を、より簡易に評価する簡易型、あるいは市町村向け簡易型の導入について、今後検討していく。

Q 防災対策全般を問う



小池 満男 議員

地震、台風、豪雨の被害を最小限に抑えるために、河川整備は重要課題だ。

宇坪川の中流、岡島食品館周辺は、田富小中学校の通学路としても重要路線であり、抜本的な改修

小池議員 防災無線は災害発生と、それに伴う情報の伝達に欠かせない。現在、豊富地区のみが完了している防災無線デジタル化の進捗状況と、今後の取り組みについて伺う。

が望まれる。土地問題で改修が進まないとのことだが、可及的速やかに解

決に取り組んでもらいたい。状況を伺う。

東花輪駅北側の田富玉穂大津線は、田富地内において延伸工事の計画中だが、二カ所のクランクを設ける案には、首をひねる市民も多い。災害時の大規模避難、さらには中央市の将来を見据えると、見直しの必要を感じるが、所見を伺う。

A 高い防災意識と備えが必要

市長 防災無線は、合併前の旧町村単位で運用

している状態なので、デジタル化方式で統一して整備し、中央市として一体的な運用ができるようにする。現在、基本計画を立てており、本年度中に実施設計を完了させ、二十、二十一年度で施設整備を実施する予定。

宇坪川の整備については、

河川の底地に地権者不確定の部分があり、地籍調査で確定後に所有権移転登記を行い、県の事業として実施するとの回答を受けている。田富小中学校の通学路は、今年度中



宇坪川の中流

に葎崎櫛形豊富線から、岡島食品館北側までの整備と、ガードレールの設置をする。田中種苗店から学校までは、順次計画実施の予定。

田富玉穂大津線の延伸

工事は、現時点では、カメラのキタムラの北側にT字路で県道と交差する方向で進めてきたが、地元説明会で賛同を得るまでには至っていない。この道路は、旧三町村を結ぶ基幹道路として位置付けており、新山梨環状道路が開通した場合の、交通量の動向などを十分考慮に入れ、県道沿いの民家への影響など、多くの課題があるが、時間をかけてルート案を検討する必要があるものと認識している。

Q 多文化共生社会の 実現について



名執義 高議員

ほか1件

名執議員 日本人と外国人が共に安心して暮らせる社会にしていくため、外国人を受け入れる視点が、地域社会に求められている。外国人子弟の教育環境の実態調査、行政施策に反

映できる諸資料の作成、外国籍の子どもの不就業ゼロを目指す就業保障は、平成十三年「外国人集住都市会議」が設立された。南米日系人を中心とする外国人が多数居住する都市の行政と、地域の国際交流協会等をもって構成し、外国人住民に関わる情報

交換を行い、問題解決に取り組むことを目的としている。参加する意向はないか。

障害者自立支援法に基づき、各自自治体で手話通訳者や要約筆記奉仕員派遣事業等、コミュニケーション支援事業が始まった。庁内窓口の手話通訳者を配置すること、防災無線では情報伝達できない聴覚障害者のための、防災緊急ファクスが必要と考えるが、所見を伺う。

A 実現に向け 対処する

市長 十一月一日現在、外国籍の不就業児童生徒調査では、小学校で一六八人中一一四人が在籍、中学校で四八人中四四人が在籍。教育環境の実態調査、基礎資料の作成、就業保障については、学校現場の通訳や先生方の意見を参考にして協議していく。

外国人市民に関わる諸問題は、就労・教育・医療・社会保障等、法律や制度

に起因するものも多い。先進都市との連携も視野に入れ、会議への参加を検討したい。

手話通訳者は、各庁舎の職員の配置を勘案し検討する。防災無線のデジタル化に併せ、要援護者の登録を推進し、ファクスの導入を検討する。

Q 学校の施設に ついて

問 市の学校施設を見ると、老朽化やスペース不足等の問題がある。二十年度

の入学予定、教室の不足状況。プールの使用状況を伺う。

A 年次計画を立て 検討する

市長 二十年度の入学予定は、小学校三三四人、中学校三四〇人。田富の二つの小学校で、プレハブを使用している。大規模改造等の時点でプレハブ教室の解消を行いたい。プールの使用状況は、学校が延べ二万四五二人。市営が延べ一万七、二六一人。

Q 通学路の防犯灯 設置について



田中健夫 議員

ほか1件

することを望むが、市長の考えを伺う。

A 子どもの安全を 図る

市長 通学路等の防犯灯設置は、市の役割になっている。防犯灯管理台帳の整備を進めており、田富・玉穂地区は終了し、二十

年度に豊富地区が完成した段階で順次運用する。現在は、PTAや自治会の要望を受け協議の上、設置している。通学路の整備も、地域の状況に応じて子どもの安全・安心の確保を図っていく。

Q JR東花輪駅の 周辺整備は

問 宮本踏み切りの東から駅前広場周辺にかけての混雑解消を急いでほしい。駅前広場から東花輪踏み切りへの道路も、大型車両を含め交通量が多く、

A 県、JRと 連携し整備する

市長 宮本踏み切りは、間近で県道が直角に曲がるため、大型車両の横断時には、対向車が踏み切り反対側で待機しないと通行できない構造で、歩道もないことから非常に危険といえる。同様に駅

拡張して歩道を設置する必要がある。広場西側駐輪場も、適切な近接地への移転を望む。安心安全な駅前環境の実現について、市長の所見を伺う。



東花輪駅前

南の急カーブは幅が狭く、大型車両の通行に支障がある。県は、これらの状況を解消するため、二十一年度までに県道の改良

工事を実施する。この改良に伴い、市に対して、JR東海から用地払い下げを含め、道路と駅前広場の明確な分離、歩道設置などの要望が出されており、協議を進めている。県とも協議し、県道拡幅の完成に合わせた駅前周辺の整備を目標にした計画を進めている。駐輪場の移転についても、これらの協議・計画の中で検討する。駅前から東花輪踏み切りまでの、市道への歩道設置についても検討する。

Q 公共施設に喫煙施設室 の設置を

ほか2件



長沼辰幸 議員

長沼議員 公共施設で禁煙化を行うケースが多く、愛煙家の立場からは、一方的に喫煙環境が狭められるのには疑問がある。喫煙マナーを高め、煙草を吸わない人々と共存を

A 現状では困難

市長 健康増進法が施行され、喫煙対策が全国的

に広まり、本市でも各庁舎の分煙機を十九年三月に撤去し、事務所内禁煙措置を講じた。現段階では喫煙施設の設置は、非常に厳しい状況にある。

Q 田富西通り線の 開通は

問 開かずの通りとして長い年月が経過している。周辺の東花輪交差点、田富本庁舎前の市道の交通渋滞は、朝夕に激しく、開通が急がれるが、今後の方針を問う。

A 早期着工を目指す

市長 全長一、六二〇mのうち、中間の三五〇mが完成していない。昭和バイパスとの取り付けが下り一方通行であるため、その解決等の問題もあり、県とも十分協議して、早期着工を目指す。

Q 入札制度改革に ついて

問 入札制度改革委員会の答申をどのように受け止めているのか。答申内容とかけ離れている理由は

A 十分な試行期間 を設ける

市長 入札改革委員会の答申を重く受け止め、十分な試行期間を経た中で精査し、徐々に答申内容に近付けていく。試行期間と金額については、同規模自治体の状況等を参考にし、答申の趣旨を受

け止めて決めた。入札監視委員会の設置は、指名選考委員会および部次長会議等で検討し、方針決定する。試行は七月より始めたばかりで、まだ十分とは言えず、終了後の予定は今後検討する。

Q 中央市道路占用料 徴収は

ほか1件



伊藤公夫 議員

伊藤議員 現在、市道には民間企業の施設が地下に埋設されている。玉穂の新城団地および田富の桜団地一帯にはプロパンガスが、医大近くの土地区画整理地には都市ガスが、

地下配管されているほか、市全体に、電線、電話線ケーブルなど相当量がある。十八年制定の市条例に、道路占用料を徴収する規定があるが、実施されていない。反対に十八年度、三庁舎間を結ぶパソコン回線の電柱共架料として、東京電力に約一八〇万円

A 徴収に向け 体制を整える

市長 公平な徴収になるよう、対象件数などの調査を実施し、近隣市町村の動向を見ながら、早期に徴収体制を確立したい。

Q 玉穂庁舎、周辺 公共施設の駐車 場確保について

問 玉穂庁舎周辺は、小中学校、玉穂生涯学習館、保育園、建設中の福祉保健教育拠点施設等が集中し、恒常的な駐車場不足だ。周辺道路への違法駐車等で周辺住民にも迷惑をかけている。庁舎駐車場の東側に隣接する土地を取得してはどうか、提案する。

A 用地確保を 検討する

市長 ご指摘どおり、イベント等の際、駐車場不足のため、来客者や周辺住民に迷惑をかけている。市としても、ご提案の土地が適地であると認識している。合併補助金等を活用し、地権者と交渉して了解が得られれば確保できるように、早急に駐車場拡張計画を検討する。



玉穂庁舎駐車場

Q リニア中央エクスプレス 新駅・ターミナル誘致は

ほか1件



内藤 進 議員

内藤議員 JR東海は、山梨の実験線を当初予定の四二kmに延伸するための工事を着工と、南アルプス貫通ルートの調査実施を発表した。中央市に、身延線とクロスするリニア

ア新駅が設置されれば、市の未来に変革をもたらす大プロジェクトになる。新駅はもとより、車両基地、整備工場、運転指令所などのターミナル機能の誘致と、そのための組織づくりを、策定中の長期計画に位置付けてはいかかがか所見を伺う。

Q 入札制度改革について



井口 貢 議員

井口議員 入札制度改革委員会からの九ヶ月が経過しているが、答申内容とは程遠く、入札制度改革を加速する必要があるのではないかと。過去の贈収賄事件を深く反省し、

体質改善に努め、市民への信頼回復のためにも答申内容を真摯に受け止める必要がある。五点について、市長の所見を伺う。

入札制度改革委員会の答申、工事・製造請負三千万円以上、業務委託五〇〇万円以上での一般競争入札を迅速に実施すべきでは。

A 積極的に取り組む

市長 リニアを取り巻く環境は、二〇二五年の営業運転開始目標、実験線の延伸、南アルプス貫通ルートの調査実施等の公表により、大きく動き始めた。横内知事も、甲府盆地南部へのリニア新駅の設置に言及している。JR身延線、中央自動車道、新山梨環状道路が集中する本市への新駅の設置の可能性は極めて高いと認識している。甲府圏域建設促進協議会を通しての誘

Q ゴミステーション 整備条例制定について

問 市の公共事業として進める、工事・施工にあたっては、周辺地域形成に必要な塵芥集積を基本とした、ゴミステーションを事業に組み入れるための条例を制定して、快適な市民生活を保障すべきと考えるが、市長の所見を伺う。

A 積極的に 取り組んでいる

市長 答申は十分な試行期間を経た中で、段階的に金額を下げ、執行件数を増やしながら、答申内容に徐々に近付け、本格実施したい。

A 現状では困難

市長 道路構造への影響や市街地の状況、用地取得に対する残地形状など、さまざまな問題が発生することが予想され、現在のところ、条例の制定は困難と考える。今後、近隣の動向を見た上で対応したい。



24時間リサイクルステーション

全国に一九県、二八自治体がある。ほとんどが指名競争入札で、県内の同規模自治体では五千万円から一億円で試行しているのが現状だ。今後、総合評価方式の導入を検討していきたい。

四月より、県の技術職員OBを、会計課内に工事検査指導員として配置。工事検査監と二人体制で、工事施工管理、完成書類の作成指導、中間・完成検査、監督職員と業者の指導を行っている。九月より、月一度の職員工事

試行を繰り返して、事務軽減の工夫をし、問題点を改めながら見直して、公明正大な入札制度を実現したい。

人口三万人から三万二千人の同規模自治体は、監督検査研修会を実施、必要に応じて、県の工事検査課より講師を招き、職員の資質向上を図っている。

中山間地域総合整備計画について

ほか1件



小沢 治 議員

小沢議員 豊富地区に建設される予定の地域活性化施設が、地元住民に説明もなく中止になった。中山間地域総合整備計画についての位置付けは、県側から事業達成を促

されたのは事実か。

豊富中央公民館は老朽化している。有利な補助事業、合併特例債を利用して実現できないか。

中止の理由と経過は。

豊富地区での公民館建設の予定なしと、県に伝えたのは事実か。

生産者、消費者が交流

東花輪駅前広場の整備について

ほか3件



設楽 愛子 議員

る地下道の設置について。

A 安全性と利便性に配慮する

市長 JR東海と整備

内容の協議をしている。

駅前広場整備に併せて

検討する。

歩道設置は検討する。

費用対効果等を勘案し

を深める場所が失われてしまうが対策は。市長の所見を伺う。

A 財政状況を勘案し努力する

市長 豊富地区発展のための、大型プロジェクトと認識している。

事業主体の県と市が協議し、計画達成に向け努力している。

合併時の新市建設計画をもとに、基本計画等を策定している。これに基づき事業実施の方向。財政的に併設のコミュ

検討する。

Q 包括支援センターの充実にについて

問 相談窓口に専用フリーダイヤルの設置を。

健康体操サポーターの今後の取り組みは。

社会福祉士の配置について。

閉じこもり高齢者への対策について伺う。

A 積極的に取り組む

市長 職務上訪問相談や調査により離席していることが多く、実効性を

ニティーセンター建設は不可能なことから、活性化施設を単発で建設しても十分な活用を図れないと判断し、建設を断念した。経過報告と説明の不足は事実で誠に遺憾だ。

私を含め市職員も、発言した記憶はない。

Q 防災について

問 十一月に、東海地震を想定し、防災訓練が実施された。今後の課題と対策は。

洪水ハザードマップの活用策は。

う予定。

抜き打ちの緊急参集訓練の実施等を通じて、体制確立を図る。

点検整備の実施とともに、補助金制度も検討。

行政無線のデジタル化とともに、消防団の周波数統一を図る。

A 体制確立を図る

市長 防災対策を明確にし、啓蒙や設備の充実職員の初動体制確立などに取り組み。

全戸配付、ホームページ掲載、説明会等実施し、消防団にも活用してもら

含め検討したい。

二十四年度までに一四五名を養成する予定。確保に努めたい。

特定高齢者施策の一環として、支援したい。

Q がん対策として検診率の向上を

問 がん対策推進計画策定の進捗状況は。

目標数値は

検診率の向上の具体的な取り組みは。

子宮頸がんの検診率向上について。

前立腺がんの検診導入

について。

日曜、祝日検診の取り組みについて伺う。

A 効果的な検診を推進する

市長 今年度中に策定の予定。

市特定健診等実施計画と県の計画を踏まえ検討

基本検診、胃がん・大腸がん検診等を実施。

さらに啓蒙に努める。

現在は希望者だが、今後導入を検討する。

今年度と来年度、二日の休日検診を設けた。

Q 市民満足度調査の実施を

問 調査を市民および市職員に実施すべきだ。職員の早期退職制度などの導入は。

A 市政運営に活用する

市長 三月に市民、五月に職員に実施。分析結果は公表し、市政運営に活用したい。

行政改革大綱を踏まえ、今後検討する。

Q AED(体外式除細動器)の環境整備と拡充を

ほか1件



野中つね子 議員

以上三点を提案する。市長の所見を伺う。

A 環境整備に努める

野中議員 市民誰でも使える、AEDの設置場所を周知徹底すること。民間企業等における設置状況の調査と設置依頼。市の防災対策に、AED講習を組み込むこと。

Q 豊富地区、中山間地域総合整備計画について



大沼芳樹 議員

大沼議員 豊富地区の中山間地域総合整備事業は、平成十二年に豊富村長、議員、教育委員、農業委員、区長、東八西部商工会などで協議会を設置し、事業計画を策定。二三地区

の事業計画が認定された。国、県の補助率八五%、市の負担率一五%で事業費総額は一七億七千万円になっていた。

期間が一年延長されたが、二十一年までの事業計画と事業費について伺う。

防災訓練、自治会活動として取り組む体制を取りたい。

Q 子育て環境に優れた市の建設を

問 読書の推進について

(1) 読書活動推進計画に基づいたリーフレットの全戸配付を。
(2) ブックススタートを、出生届け時、四カ月健診時、新たに入学時を加える。
(3) 出生届け、健診の各担当課と学校が一体となって事業を推進すること。

A 平成二十一年度の事業完成を目指す

市長 中山間地域総合整備計画の期間の延長に伴い、九月に地元議員、正副自治会長、農業委員の各自治会関係者に経過説明等を行った。要望個所の見直しを行い、国、県と協議を重ねており、年度内の採択に向け測量・設計等を行い、実施可能個所から順次実施し、二十一年度の事業完成の予定。現在までの実施予定事業は五地区で、水路改修工

とについて、所見を伺う。子ども自身が自分の力で自分を守る力をつける。



お店やさん(田富北小)

事が七路線で約二千メートル。

山の神社参道入り口までの施設間連絡道路整備事業が五〇〇メートル、駐車場等用地整備が約一五〇〇平方メートル。防火貯水槽が十力所の予定。概算事業費は、二十年度、二十一年度ともに二億円で、計四億円で計画している。ただし、これらは現段階での実施予定事業、概算事業費であり、国、県との協議により変更される可能性があり、ご理解をお願いしたい。

厚生常任委員会所管事務調査報告

平成十九年十一月十四日(水)に市内の介護・福祉施設特別養護老人ホーム「らくえん」、老人保健施設「玉穂ケアセンター」、軽費老人ホーム「パンセ」、玉穂ふれあい診療所、特別養護老人ホーム「田富荘」五施設の調査を行いました。各施設において、理事長等から運営状況の聞き取り、施設内の視察、質疑応答等を行いました。特別養護老人ホーム、老人保健施設、軽費老人ホーム、ホスピス等様々な形態の施設の現状などを理解する機会となり、今後の中央市の介護、福祉医療等のあり方について大いに参考となる調査となりました。

A 事業推進に

市長 (1) 十九年四月、中央市子ども読書活動推進計画を策定。教育機関を中心に配付した。全戸配付を含め、周知方法を検討していく。
(2) 対応する職員の研修、絵本の在庫管理の点から現状では困難。当面は現行のスタイルで行きたい。
(3) 関係部署の連携による事業展開は不可欠と認識している。
今年度は全小学校で実施予定。来年度も続行したい。虐待等の現状把握は、民生委員、保育園等からの相談・報告に基づき、市の家庭児童相談室が中心となり、関係機関と連携して支援している。
県からの日本語指導教員の増員、市独自の通訳の拡充を図っていきたい。

常任委員会レポート

総務教育常任委員会

▼ 中央市職員給与条例の改正

問 職員の給与の決定根拠は。

答 採用時は最終学歴、その後は市の運用基準により、年齢、経験年数等を考慮して決定する。

▼ 一般会計補正予算（政策秘書課）

問 広報費の需用費の増額の理由は。

答 当初予算の積算が誤っていたため。

（教育委員会）

問 障害児の受入は市内の小中学校で可能か。

答 田富南小、田富小、田富北小で受入が可能。障害児が入学する際には、施設の必要最小限の改修を行う。

問 日本語が話せない子どもに中学校入学前に、日本語教室開催等の考えは。

答 入学前にそういった子どもの把握等が難しいので、入学してからとなる。

厚生常任委員会

▼ 中央市国民健康保険税条例の改正

問 条例改正内容の市民への啓発方法は。

答 広報誌への掲載、保険証の更新時にパンフレット等を同封する。

問 特別徴収の対象世帯と対象人数は。

答 世帯全員が六五歳以上七五歳未満の世帯主、対象は約四〇〇人。

問 前年度の所得が確定する時期は。

答 六月初ころ確定する。

問 条例改正について、市民への周知徹底をお願いしたい。

▼ 一般会計補正予算（福祉課）

問 地域生活支援事業のサービス利用人数は。

答 三四名がサービス利用している。

問 特別障害者手当事業の対象人数は。

答 受給者は三二名（子育て支援課）

問 広域入所の受委託の人数は。

答 七月一日現在他市町

村へ一〇五人、他市町村から三九人。

問 保育園の定員に対する、入園児の状況は。

答 待機者はほとんどいない。

問 保育園の新設等は

答 現在新設等は考えていない。

問 病後児の保育園への

受入状況は。

答 私立まみい保育園で受入れており、平均月一・三人。

▼ 国民健康保険特別会計補正予算

問 国保財政調整基金の現在の総額は。

答 約二億四千万円。

議会行政視察報告

一、視察場所
滋賀県長浜市議会

二、視察日時
平成20年2月5日（火）

（6日（水））

三、視察の報告

長浜市議会では、本会議の生中継や録画中継をし、市民にわかりやすい議会を行って



ました。この視察を参考に、より一層の市民に開かれた議会運営を行いたいと思います。

長浜市は、滋賀県の北東に位置し、平成十八年二月十二日に（旧）

長浜市議会では、本会議の生中継や録画中継をし、市民にわかりやすい議会を行って

人口八万五千人の新市であり、豊臣秀吉ゆかりの長浜城下町として

歴史は古く、歴史的文化遺産があり、多くの観光客が訪れる観光都市です。都市開発として、長浜サイエンスパーク等の国内のバイオ産業の拠点として、注目されています。

産業土木常任委員会

▼ 一般会計補正予算（農政課）

問 農地費の工事請負費増額の理由は。

答 当初設計より、工費が増額となったため。

▼ 土地区画整理事業特別会計補正予算

問 産廃処理の調査の内容と調査の結果は。

答 法律で定められた、基準によつて調査を行い、すべて基準の範囲内。

問 産廃処理に係る工費について、土地所有者に負担を求めることはできるのか。

答 時効が成立しているもので、地権者に負担を求めることはできない。

問 スーパー街区賃料の坪あたりの金額は。

答 坪あたり五〇〇円。

▼ 田富よし原処理センター事業特別会計補正予算

問 使用料を住民から徴収する考えは。

答 企業から負担金を徴収しているので、使用料を徴収する考えはない。

市民の談話室



魅力のある街づくり

大鳥居 薬袋 貴



中央市の南に位置する旧豊富村は、丘陵地帯の広がる、どこかで牧歌的な風景の美しいところである。また、野菜や果樹の生産が盛んで、自然の豊かな住みよいところだ。

ベートーヴェンは、晩年には耳が聴こえなくなり、音楽の都であるウィーンをあとに、人里を離れた静かな街、ハイリゲンシユタットに移り住んだ。この街は、ここによく似た丘陵地帯にあり、丘の斜面にはぶどう畑が点在する。交響曲第6番「田園」と呼ばれる交響曲は、この町でさまざまな景色や街角にある音楽素材が、音楽のもととなっている。

この町の中を散策すると、ホイリゲと呼ばれるワインの新種を飲ませる居酒屋がいくつもあり、歴史と文化、そして第一次産業である農業と第三次産業である観光とが実にマッチしており、訪れるものを虜にする。自然と産業、そして歴史と人がどのような街、中央市になったことが、本当の魅力のある街、中央市になっていくのだと感じている。

私のサークル活動

布施 星野あつ子



「私にもできるかしら」の一言から、木目込み人形作りを始めて十二年になります。千支もひと回りしました。きっかけは、軽石先生宅を訪れると、季節ごとに素敵な人形たちが出迎えてくれたことでした。

サークルでは、年中行事に合わせて自分の作りたい人形を決め、製作しています。仕事などで行けない時もありますが、稲穂祭の作品展に向けて、自分のベースのんびりと楽しく通っています。今は昨年誕生した孫のために、たくさんさんの願いと愛情を込めて、雛人形を作っています。

サークルの仲間で、八十歳を過ぎた山口あぐるさんは、木目込みの残り布をつかって、温もりある作品も作っています。また仲間との語らいでは、煮物や漬物をおいしく作るコツなど学ぶ事が多くあります。悩み事などで笑い飛ばす元気な仲間が私の宝です。これからも中央市民として、木目込み人形作りを通して、心豊かに過ごし、成長していきます。

編集後記

私は、昨年一月の市議会議員選挙において、初めて議員となり、議会広報編集委員六人のメンバーの中の一人であります。あたりまえの事ではありますが、いかに市民の皆様に議会広報を読んでもいただくか、六人の委員が知恵を絞って、見やすく、わかりやすい内容で議会広報の発行に心がけています。

一般質問の内容には詳細な質問もあり、これに対して市長が答弁するわけですが限られたスペースの中で活字にして市民がわかる内容の広報でなければならず、校正の難しさを痛感しているところです。特に事業課に関する質問には市道何号線、また地名等が随所に出ての質問には、私たち議員でもなかなか理解しがたい時もありますが、できる限り分かりやすい議会広報の発行を目指してまいりますので、皆様方のご意見をお待ちしております。

「伊藤公夫」

議会広報編集委員会

委員長 小池 満男

副委員長 野中つね子

委員 名執 義高 伊藤 公夫

一瀬 明 田中 健夫